

令和 5 年 12 月 6 日

報道機関 各位

シンポジウム「観光の新たなデザイン——未来を創る地域の魅力」開催

◆本件のポイント！

- ・山陰の観光地で行われている新しいユニークな企画を紹介します
- ・シンポジウムを通して山陰観光の隠れた魅力を再発見し、地域の未来を展望します

◆本件の概要

シンポジウム「観光の新たなデザイン——未来を創る地域の魅力」を開催します。基調講演に観光社会学を牽引する遠藤英樹氏(立命館大学)をお招きし、これからの地域観光のあり方を伺います。

またパネルディスカッションでは、山陰観光の第一線でご活躍されるフロンティアの方々が、コロナ後の観光について議論します。他にも、本学の学生および島根県立大学の学生による観光研究の発表も行います。

◆概要内容

【日 時】2023 年 12 月 16 日(土) 13 時 00 分～17 時 30 分

【会 場】島根大学 教養講義室棟 2 号館

(〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060 島根大学松江キャンパス内)

※参加希望の方は事前登録をお願いいたします。

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学 法文学部 山陰研究センター

電 話:0852-32-9833 / メール:admin-src[at]soc.shimane-u.ac.jp

案内 HP: <https://www.src.shimane-u.ac.jp/docs/2023112700017/>



【添付資料: あり(1 枚) なし】

シンポジウム

観光の新たなデザイン —— 未来を創る地域の魅力

●プログラム (12:30開場)

13:00~14:00

基調講演『アフター・コロナの観光

—— 観光を「希望の原理」とするために』

遠藤 英樹 (立命館大学 教授・観光学術学会 会長)

14:00~15:30

パネルディスカッション『山陰から発信する地域の魅力』

植田 菜月 (松江 ヤクモイズム / YAKUMOISM 代表)

遠藤 達也 (奥出雲町観光協会 事務局 次長)

小幡 美香 (安来 さぎの湯温泉旅館「竹葉」

どじょうすくい女将)

坂根 めぐみ (出雲 老舗和菓子屋「坂根屋」 取締役)

中尾 寛子 (島根県観光振興課美肌誘客係 係長)

15:45~16:25

研究発表

『島根半島・宍道湖中海ジオパークの紹介と活用』

入月 俊明 (総合理工学部 教授)

『「観光で稼ぐ」から「地域全体で稼ぐ」への転換』

飯野 公央 (法文学部 教授)

16:30~17:30

学生による研究発表 <ポスター発表>

- ・グリーンスローモビリティによる地域課題のソリューション
- ・シェアリングエコノミーが観光産業に与える影響
- ・地質学から考える地域に根差した島根のジオパーク活動
- ・島根観光百科事典：日本遺産「出雲國たたら風土記」(観光実践)
- ・関係人口を含めた農地保全の可能性
- ・山村留学の受け入れ態勢に関する現状と課題
- ・養蜂を活用したグリーンツーリズムの成立条件
- ・隠岐ジオパークにおけるガイドと観光マップの役割
- ・繋ぐ・広げる・伝える和菓子の魅力
- ・文化財の歴史と保存——美保関と隠岐島前神楽

など

2023年 12月16日(土)

島根大学 教養講義室棟 2号館

コロナ禍も一応の収束をみせ、これまでの日常に戻りつつある。また観光客も徐々に戻り、かつての活況を取り戻そうとしている。この状況の中、山陰地域の観光地は新たな、そしてユニークな企画に次々と取り組んでいる。それは単に誘客や経済効果だけを狙ったものでなく、これからの地方都市や地域社会の未来を考えるヒントとなり得る。本シンポジウムでは、山陰観光の潜在的な魅力や価値を再発見し、そこから地域の未来を展望する。



島根大学

参加無料

参加には事前登録をお願いします ▶



主催：島根大学 法文学部 山陰研究センター
共催：島根大学 国際観光教育推進センター

<https://forms.gle/pRXU3F8Y4mmACcAc8>